

竹の工作&流しそうめんワークショップ

雲ヶ畑の久保さん宅の裏庭の河原で涼を

平成27年8月8日（土）は、理想の森プロジェクト主催の流しそうめん大会が開催されました。今年で4回目の開催となったこの企画にお邪魔しましたので、楽しい川遊びの様子をご紹介します。

もくもく号で雲ヶ畑の久保さん宅に到着すると、既に主催者の皆さんが流しソーメンの準備をされていました。全長4mの竹を割った流し台がスタンバイされていました。

＜久保さん宅の裏庭 プライベートリバーに流し台＞



ここから流しソーメンの準備が本格的に始まりました。そうめんを食べる器と箸を竹細工で準備します。久保さん宅の裏庭に自生している竹を1本切り出してのこぎりで輪切りにして節の部分は器に、間の部分を箸に細工します。

＜小型のチェーンソーを取り出して＞ <竹を伐採＞



<必要な分だけ作業場へ運びます>



ご家族で参加の常連さん、お子さん達も“のこぎり”を手にとって“ギコギコ”と切れ味のよい音が響きます。小さなお子さんはお母さんに手伝ってもらって“ギコギコ”と切って行きます。

<最初は大人が見本>



<私の器は私の手で>



<しっかり持っててね>



<次は私の順番>



久保さんに割ってもらった細めの竹を2本、使いやすい太さに削って仕上げます。

＜傍らで箸の材料を準備＞



＜みんなで箸を削ります＞



さあ、準備が出来ました。それぞれの器と箸を持って“いざ”プライベートビーチへ！川の水で器をすすいで準備完了です。

＜鴨川源流域の澄んだ水で器をすすいで＞

